

# 関東ふれあいの道を歩く(茨城)②杉並木の美しいみち

2021年5月26日 池内淑皓

2021年4月12日(月)晴れ、昨日は茨城県に入って最初のコースを歩き、水戸駅前のホテルに宿泊した。今日は前日ゴールの御前山バス停から歩き始める。このコースは江戸時代水戸藩が御用林として大切に保護してきた山林で、ゴールまで人里離れた山間部の林道を歩くと言う、楽しみだ。



②杉並木の美しいみち 概念図 (首都圏自然歩道連絡協議会)



行程図



今日も晴れ、駅前のバスターミナルから助さん、格さんの見送りを受け、御前山方面行きのバスに乗る



御前山でバスを降りる、遠方の赤い橋が那珂川大橋、昔は木橋でここから見た那珂川の風景を「関東の嵐山」と呼ぶほど、美しかったと云う。



バス停で降りてすぐ案内板に従って、皇都の集落から赤沢林道に入る



林道に入って入口の案内板、これほど朽ち果ててしまった案内板も珍しい



にりん草かな



今の時期、里山は山吹が咲き乱れる



一本道であるから道標も不要であるが、草むらに隠れて残っている



もちろん要所には、きちんとした道標が設置されているから安心だ



赤沢林道は皇都川に沿って歩く。この名前奥ゆかしい名であるが、奈良時代孝謙天皇がここを行在所としたことに始まる。下野(しもつけ)に流罪となった弓削の道鏡を慕って孝謙天皇も東国に下ったと云うロマンスが伝わる。



舗装が尽きても杉の杜は変わらない、江戸時代は水戸藩が御用林として手厚く管理したが、現在は手入れ不足が目立つ



青少年もこの道を散策するから、粋な言葉が多い



今、私は一人で歩いているけれど、おいしい空気はたくさん吸って行こう



今日のゴール、城里町塩子(しろさとまち しおこ)の案内が出て来た、あと7.7kmある



こまねぎ峠通過 10時、廃棄物の不法投棄が目立つ



こまねぎ峠からわずかの距離で相川釜泉への案内があるが、平成の頃には既に廃業し、現在は廃屋となっている



山中奥深くに佛國寺がある。塩子から車で10分位のところだろうか。真言宗豊山派の寺で行基が創建し、慶長年間に教口導上人が再興した。江戸時代火災により全ての堂塔伽藍が灰燼に帰した



関東の高野山と呼ばれている古刹。本尊：11面千手観世音菩薩、寛文三年(1663)水戸光圀が訪れている



佛國寺鐘撞堂にて、鐘だけがかつての繁栄の形見として残された



今日のゴール地点である塩子支所前。到着時間は12時10分、水戸方面に帰るバスは、16:15までない。

[参考タイム] 水戸駅(7:00)→御前山バス停(8:10)→御前山西口登山口(8:40)→こまねぎ峠(10:07-10:15)  
→相川鉦泉分岐(10:35)→佛國寺(11:25-11:35)→塩子支所バス停(12:10)

この項完

関東ふれあいの道を歩く(茨城)「③伝説の山と僧兵ゆかりのみち」に続く